

◆生活作文の書き方◆

岡崎市現職研修委員会 国語部

毎日のくらしの中で心が動いたり、自分が変わったたりしたことを、文章に書いてみましょう。書くことで、自分の心の成長や周りの人たちの思いに気付いたり、世の中を見る新しい考えにたどりついたりします。思い出して作文にするには、少し努力が必要ですが、ぜひチャレンジしてみてください。

「どう書いたらいいのかな？」と、こまっている子へアドバイスです。



◆よい作文のポイント



①題材は身近なものを…何気ない生活の中に、あなたの心が動いたしゅん間があるはずです。



おもしろかったこと、くやしかったこと、大切にしていること……。その中で変化した自分を感じることは、文章にしてみる値打ちがあります。

②組み立てメモを…つくろう



原稿用紙にいきなり書き始めると、うまくまとまりません。何を、どのような順で書くか考えてから、まず組み立てメモをつくりましょう。物事の始まりと終わりを決めて、その中にいくつのが連なっているかを書き出しましょう。

③五感を使おう……そのときの様子をよく思いだすことがいちばん大切です。読み手に伝えるために、言葉を選びましょう。よく見ることはもちろんですが、どのような音やにおい



だったのか、さわった感じや、食べたり飲んだりした味も大切なポイントです。会話文も、場面の様子や人間関係をはっきりとさせましょう。そして、視覚①・聴覚②・嗅覚③・味覚④・触覚⑤の、人間のもつ五つの感覚をたっぷりと使って書けるといいですね。

④自分の心の成長を……文章のはじめと終わりで、自分の成長（心の変化）が読み手に伝わっているか、ふり返ろう。確認しましょう。

★これまでに「文集おかざき」にのった作品の題名です。参考にしてみてください

- ・ぼくはお兄ちゃん
- ・はじめてのおつかい
- ・わたしのきれいな木よう日



- ・ぼくのアゲハチョウ
- ・十年後の私と梅酒
- ・おねえちゃんみたいになりたいな



◆詩や説明的文章にもチャレンジを

何気ない生活の中で、あなたの心がぐっと動いたしゅん間を切り取って、短いことばでリズムにのせて表現してみましょう。ロズさんでみると、そのときの気持ちが見えかんとくるような、そんなことばで表現ができると、すてきな「詩」になつていくと思います。

また、テーマを決めてじっくり観察や実験、取材をすることができたら、結論までの筋道を証拠を示しながら書いてみましょう。資料として表やグラフ、写真などをつけて表現すると、「説明的文章」です。

ただし、インターネットなどの資料を勝手に使用することは、禁じられています。せっかく自分で書く文章ですので、資料も自分で手作りしましょう。

◆「これは、ぜったいにダメ！」



他人の文章をそっくりまねたり、そのまま写したりすることは、とてもいけないことです。また、インターネットで得られた文章や資料をそのまま使うことも法律で禁じられています。どうしても引用したいときは「」を使って、読む人にここを引用したということをはっきりさせる必要があります。作品を書く上で参考にしたものがあるならば、「参考文献」として、その本の題名を作品の後ろに必ず書いておきましょう。Aーを使って作成した文章を入れることも、やってはいけません。

自分の思いや考えを自分自身のことばで表現してこそ、すべた文章と言えるのです。

生活作文を書こう

年 組 名前

○毎日のくらしの中から、心にのこったことを書こう

一 毎日の生活の中で、強く心にのこったことを思い出してみましょう。その中の出来事できごとをくわしく思い出し、書くことの題材だいざいを集めてみましょう。

【れい】

・さか上がりができて、うれしかったこと

二 右の題材だいざいの中から、心に強くのこったことを一つ選んで、書くことの材料そつりょうをたくさん集めましょう。

心に強くのこったこと				

① 心に強くのこったことを、わかりやすくつたえるために、どんなことを書いたらよいのか、○の下に書いてみましょう。

② どんなじゅんじよで書いていくとよいか考えて、○の中に番号を入れましょう。

③ 作文の組み立てを考えましょう。①と③を○の上の□に書き入れましょう。

① 「はじめ」…「中」につながることを、書き出し

② 「中」…くわしく書きたいこと

③ 「おわり」…まとめ

④ 心がいちばん動いたことに、◎をつけましょう。◎をつけたところを、いちばんくわしく、たっぷりと書くようにしましょう。

三 二の「書くことの材料」をもとに、組み立てメモを作りましょう。特に、次のことに気をつけて書きましょう。

①はじめ・中・終わりの組み立てを考えて、じゅんばんに書く。

②短い文で内ようを書く。

③会話やそのときの気持ちは、思い出したことを、できるだけその通りに書く。

おわり				中										はじめ			組み立て	だい名
																	したこと	
																		いちばんつたえたいこと
																	そのときの気持ちや会話	

四 この組み立てメモをもとにして、作文を書いてみましょう。

説明文を書こう

年 組 名前

○知りたいことを調べて、わかったことを整理して書いてみましょう。

一 テーマ（調べること）を決めよう

毎日の生活の中で、「ふしぎだな」とか「おもしろそうだな」と感じることから、調べてみたい課題を見つけましょう。

① 日常生活の中で、自分が興味・関心をもったこと。

② 右の中から一つ選び、テーマにしよう。

③ 調べようと思った理由を書こう。

二 調べて材料を集めよう

① 調べる方法を考え、実験や調査をする

- ・ 実験する
- ・ 観察する
- ・ 専門の人に聞いてみる
- ・ アンケートをとる
- ・ 図書館やインターネットで調べる（どの本、どのホームページで調べたか、必ず記録しておくようにしよう）

② 調べたことを記録に残す

- ・ メモ
- ・ 写真
- ・ 図表
- ・ グラフ
- ・ など

これらを資料として使うことができます。自分が書きたい文章にあわせて、必要なものを使っていこう。作文の最後に「参考文献」として書いておきましょう。ただし、本やインターネットで調べたもので、書き手がはっきりせず、内容が確かではないものは使わないようにしましょう。

三 説明文の構成を考えよう

調べたことをわかりやすくまとめるための「組み立てメモ」を作ろう。
説明文の構成は、大きく三つに分けられます。

おわり【結論】	なか【本論】												はじめ【序論】	組み立て	題名
・まとめ ・考察や感想	※調べた内容にあわせて段落を分けるとよい ・予想 ・調べる方法 ・調べてわかったこと												・テーマの説明 ・動機（調べようと思った理由）	おもな内容	
														書くこととその順序	
														説明に使う資料	

四 この組み立てメモをもとにして、説明文を書いてみましょう。

参考・引用文献

「作文の友」愛知教育文化振興会 三河教育研究会著
「表現の友」愛知教育文化振興会 三河教育研究会著

令和8年度岡崎市読書感想文コンクール作品募集について

1 目的

市読書感想文コンクール及び第71回青少年読書感想文コンクールに参加することによって、読書の楽しさ、読書体験の拡大による認識の高まりや生活の充実などを書きとめ、読書生活をふりかえる機会とする。

2 対象図書（教科書、副読本、雑誌は対象としない。）

- ＊自由読書
- ＊課題読書（別紙参照）

3 字数・用紙・とじ方

- ＊原稿用紙（400字詰めB4またはA4）
- 小学校低学年の部 2枚 800字以内
- 小学校中・高学年の部 3枚 1,200字以内
- ＊作品には、題名・学年のみを欄外に記入し、広げて、応募票とともに右肩をホッチキスでとじる。
- ＊学校名、氏名は原稿用紙に書かない。
- ＊原稿用紙は、必ず本人の自筆にすること。コピー、ワープロ不可

4 校内締め切り

※校内締め切り 8月24日（月）全校出校日

第 72 回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書一覧

	書 名	定 価 (税込)
小学校低学年の部	まこちゃんとコトバロボ 佼成出版社	1,540 円
	なにか いいこと あった？ BL出版	1,870 円
	ララのまほうのことば 工学図書	1,980 円
	たねはいのちのおわりとはじまり ブロンズ新社	1,540 円
小学校中学年の部	まだまだここから ポプラ社	1,540 円
	それからぼくはひとりで歩く ほるぷ出版	1,595 円
	おいしいお米をつくりたい！ ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました 汐文社	1,980 円
	宇宙でウンチ みんなの知らない宇宙トイレのひみつ あすなろ書房	1,650 円
小学校高学年の部	ポジション！ 岩崎書店	1,650 円
	リヒト！ 文研出版	1,650 円
	ミシュカ 静山社	1,815 円
	キミの一步 アフリカ ゾウを食べるにはひと口ずつ あかね書房	1,980 円